

Love&Peach for your everyday life.

# MOMOMAG

【モモマグ】

愛

LOVE

×

桃

PEACH



新しい愛を  
探しに行こう!

MOMO MAG

vol.8

2026.4-5

機内からの持ち出しはご遠慮ください。Please don't take it out.

COLUMN

- まちの自慢を、聞かせてください
- 旅からすべてがはじまった

peach

## CONTENTS

( P04-05 )

### ラブミのスマートトラベル講座

( P06-07 )

INTERVIEW

「nendo 佐藤オオキさんに聞く、Peachのブランドリニューアルのこと」

( P08-09 )

SPECIAL COMICS

「ラブミとモモモ～愛と幸せに出会える、心あたたまる旅へ～」

( P10-17 )

## 愛 × 桃

台湾で探す、愛と縁起物



( P18-19 )

### COLUMN

- Peachの舞台裏
- まちの自慢を、聞かせてください
- 旅からすべてがはじまった

( P20-23 )

### MOMOMAG feature in English

( P24-25 )

入国書類について

( P26 )

路線図



# ラブミのスマートトラベル講座

かっこよく旅する人のマナーとヒント  
Smart Travel with LOVE-ME

「愛あるフライトを、すべての人に。」を目指して

A flight full of respect for everyone.



Peachにご搭乗いただき、ありがとうございます。  
みなさまは今、どんな思いでこの空を旅しているでしょうか。

大切な人に会うため、久しぶりの休暇のため  
— 目的はさまざまでも、すべての方が心地よく過ごせるよう、  
Peachでは、お客さまに、思いやりのある  
機内空間づくりにご協力いただいております。

お一人おひとりの小さな気づきか、快適な空の旅につながります。  
どうぞ、今日のフライトが心地よい時間となりますように。

このページでは、機内でのマナーと安全対策について、  
ラブミとモモたちと一緒にわかりやすく紹介します。

Thank you for flying with Peach. As you travel through the skies, what's on your mind? Maybe you're off to see someone special, or finally heading out on a long-awaited vacation. Whatever your reason, we at Peach believe that a comfortable flight begins with kindness and cooperation from everyone on board. Even the smallest gestures of consideration from each passenger contribute to a smoother, more pleasant journey for all. We hope you enjoy your flight today. On these pages, our mascots LOVE-ME and MOMOMO will guide you through in-flight etiquette and safety tips in a fun and easy-to-understand way.

マナーを守ればみんな快適

Kindness makes the journey more comfortable for everyone.

他のお客さまにご配慮を

Please be mindful of those around you.



降機時は焦らずに

There's no need to hurry when leaving the aircraft  
— thank you for exiting calmly.



何かお困りのことなどがありましたら、  
どうぞお気軽に客室乗務員に声をおかけください。

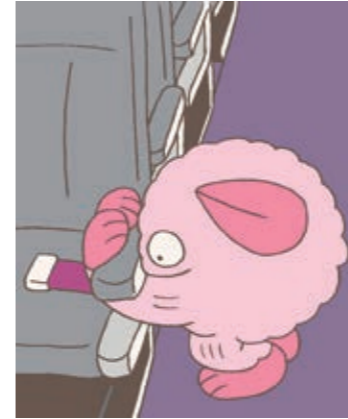
If you need any assistance, don't hesitate to ask a cabin crew.

知って安心、安全のヒント

Safety Tips for a Smooth and Secure Flight

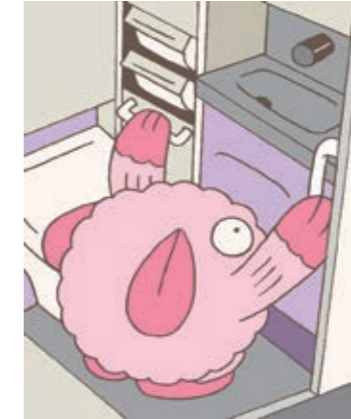
突然の揺れが起こったときには

When Experiencing Sudden Turbulence



重心を低く、  
下からひじ掛けを掴もう

Lower your center of gravity and  
hold the armrest from underneath.



化粧室では、手すりを掴んで  
重心を低くしよう

In the restroom, use the handrail to  
steady yourself and stay balanced.

お子さまの怪我を防止

Preventing Injuries to Children



座席のひじ掛けやシートベルトの金具に  
手や指を挟まないように注意しよう

Watch out for little fingers—take care not to get  
hands caught in armrests or seatbelt buckles.



## HOW TO USE MOMOMAG

「MOMOMAG」の使い方



STEP 01 メモを開いてください  
Open your memo.

STEP 02 今回の特集をよく読んで  
Take your time reading this issue's feature.

STEP 03 自分だけの  
「MOMOメモ」を書き残そう  
Write down your own thoughts in the "MOMO Memo."

STEP 04 飛行機を降りてからも  
自分の気持ちを見つめてみよう  
Revisit your reflections even after your flight.

まずはやってみよう!  
Let's try!

Q.今はどんな気持ち?

How are you feeling now?

ワクワク or しんみり

Excited or a little sentimental?

自分の気持ちと向き合って、  
今どんな気持ちか考えてみよう。

Take a moment to face your feelings and  
think about how you feel right now.

Peachのフライトには、

Wi-Fiもデジタルコンテンツもありません。

だからこそ、旅をもっと楽しんでいただくために、  
このMOMOMAGに、自分と向き合う時間をもつ  
仕掛けをご用意しました。

MOMOMAGを片手に、思いついたことを  
「MOMOメモ」に書き出してみませんか？

※機内誌への書き込みはご遠慮ください！

それでは、MOMOMAGの使い方をご紹介します。

Peach flights don't offer Wi-Fi or digital entertainment. That's why MOMOMAG is designed to help you enjoy your journey in a different way—by giving you a chance to pause and reflect. With your copy of MOMOMAG in hand, take a moment to jot down your thoughts in the "MOMO Memo" section. Let your mind wander, capture ideas, or simply enjoy the quiet. Just a small favor—please don't write directly in the magazine!

PROFILE

佐藤オオキ

さとう・おおき/デザインオフィスnendo  
代表。1977年カナダ生まれ。2002年  
早稲田大学大学院修了後、nendoを設  
立。建築、インテリア、プロダクト、  
グラフィックなど幅広い分野で活動。  
近年では、フランス高速鉄道TGVのデ  
ザインや、EXPO 2025 大阪・関西万博  
日本館の総合プロデュースを手掛ける。



INTERVIEW

## nendo 佐藤オオキさんに聞く、 Peachのブランドリニューアルのこと

創業15年を迎えるPeachは、挑戦し続けるブランドへと進化します。「愛あるフライトを、すべての人に。」この使命のために、ブランドリニューアルのパートナーに迎えたのは、日常の暮らして出会うものたちからハイブランドの世界まで幅広く手がけ、国内外で注目を集めるnendoの佐藤オオキさん。そのデザインの裏側にある想いを聞きました。



機体も、新しいコーポレートカラーに合わせて生まれ変わる。  
2027年初頭デビュー予定。

ABOUT FIRST IMPRESSION

### Peachチームとの出会い



— ブランドリニューアルを引き受けた決め手は何でしたか？

Peachチームの皆さまとお会いして印象に残ったのは、ブランドの未来に対する真剣な向き合い方でした。肩書きに関係なく意見が交わされ、一人ひとりの考えが意思決定に反映されていく。大きな企業でありながら柔軟で開かれた文化を感じました。  
もともとPeachには「変わったことを次々と仕掛けていく会社」という印象があったんです。でも実際にお話を伺うと、その裏側で“面白さ”と“真面目さ”のバランスに真剣に向き合っている姿が見えてきました。安心感を積み重ねながらも「努力は見せず、軽やかでいたい」という感覚。そのバランスにこそ、Peachの奥行きがあると思いました。

ABOUT CORPORATE PHILOSOPHY

### 「愛」という言葉に驚きました



— Peachの「変えてはいけない核」は何だと思いましたか？

「愛あるフライトを、すべての人に。」という理念です。ご担当者とお話していると、「愛」という言葉が何度も自然に出てくることに驚きました。少し暑苦しさもあるほどに(笑)。誰もが気軽に選べる存在であること。その感覚は創業時から大切にされてきた価値であり、守るべき核だと思いました。  
一方、更新すべきだと感じたのは表現方法です。デザインの役割は「よく見せる」ことではなく、Peachが大切にしている考え方を誤解なく届けること。過剰な演出を避けて、落ち着きと親しみの両立を意識しました。



新しく生まれ変わったPeachのロゴデザイン。

ABOUT NEW DESIGN

### ちょっと大人になる Peach



— 新しいロゴやカラーに込めたメッセージは？

旧デザインは奇抜でパワフルな印象がありました。新しいデザインでは、老若男女問わず愛される世界観を意識しています。ブランドカラーは優しくおいしいような桃を連想するピンクをメインに、アイボリーやブラウンなど落ち着いた色味を加えました。ちょっと大人になったPeach、というイメージです。パターン配置をランダムにしているのは、旅への期待感を込めて、いい意味で航空会社らしくないトーンになったと思います。

— 利用者の体験をデザインするうえで、特にこだわった点は？

今回コーポレートカラーは、単一の色指定ではなく、複数のトーンのピンクとしています。これにより、複数色の組み合わせによる楽しさを付加できるだけでなく、機能に応じた使い分けが可能となりました。例えば、高い視認性が求められる空港では彩度の強いピンクを、リラックスした雰囲気重視の機内には落ち着いたピンクを配するなど、各タッチポイントで最適化させています。ここに、アイボリーやブラウンを重ねることで信頼感と上質感を備えた世界観としました。

— 新しいPeachは、どんな存在になれると思いますか？

旅を特別なイベントに変えるというより、旅に対する心理的なハードルをさらに下げられる存在になれると思います。「ちゃんとしているけれど、構えなくていい」「安心できるけれど、少し楽しい」。そんな感覚を自然に感じられるエアラインです。  
新しい発見は、派手な演出やサービスではなく、「思っていたより心地よかった」「また乗りたいな」という静かな気づきかもしれません。その積み重ねで、これからも人の暮らしや旅に寄り添う存在でありたいですね。

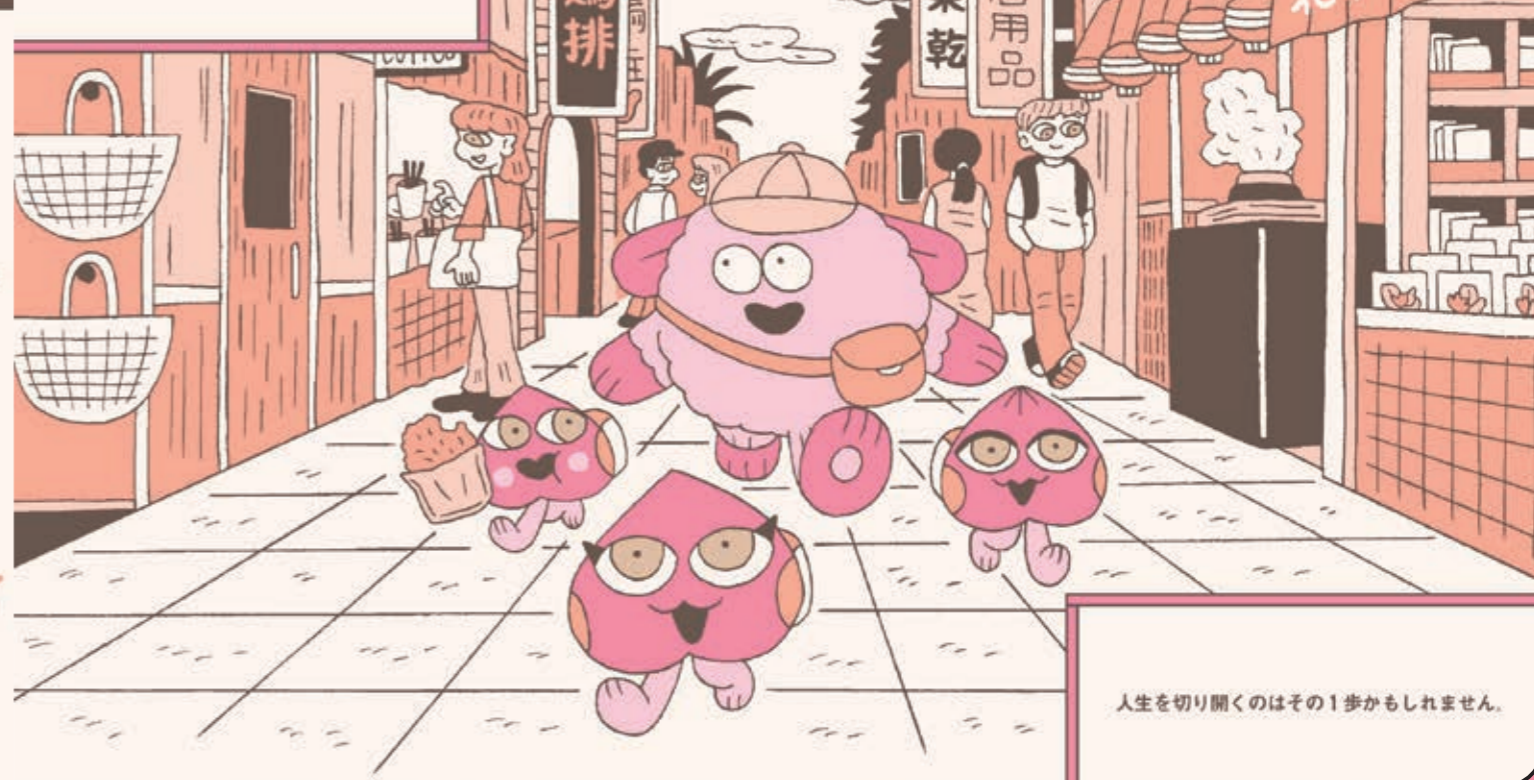
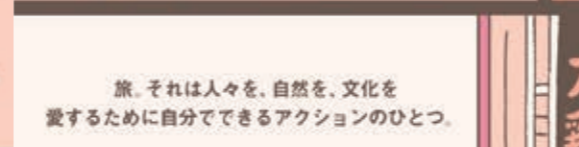
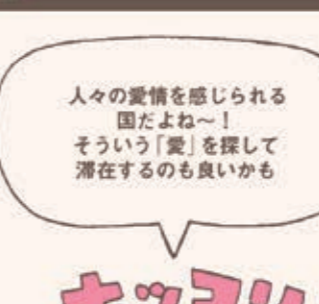
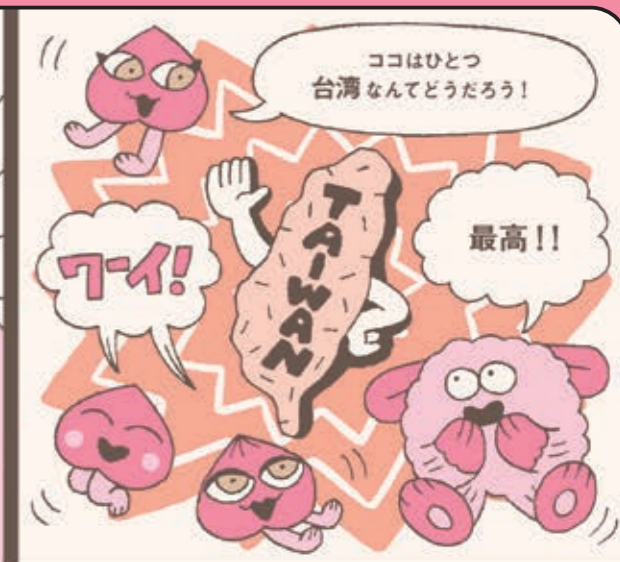


お客さまのはじめのタッチポイントになるKIOSKもデザインを一新。  
モニター部分にはロゴともリンクするピンクを配置した。

# ラブミとモモモ

～愛と幸せに出会える、心あたたまる旅へ～

まんが / オザキエミ



人生を切り開くのはその1歩かもしれません。

# 愛 × 桃

LOVE PEACH

## 台湾で探す、愛と縁起物

愛は、誰かを想う気持ち。桃は、幸せを願う形。Peachが大切にしてきた「Love & Peach」の原点を辿るように編集部が降り立ったのは、祈りの文化が暮らしに溶け込む台湾。廟の軒先に揺れる提灯、お祝いの席に欠かせない桃のお饅頭、街角で見つけた小さな縁起物たち。この島には、愛と桃がそこかしこに息づいています。  
※現地の人々に台湾語の読み方で親しまれているものは台湾語のルビを付けています。



### ノスタルジックな街で 見つけたもの

旅に出る理由は人それぞれです。おいしいものを食べたい、知らない街を歩きたい、日常から少し離れたい——でも、その根っこにあるのは、何かを“つかみたい”という気持ちなのかもしれません。心が動く出会い、背中を押してくれるような偶然、明日からの自分を少し好きになれる何か。言い換えれば、愛や幸せを探しに行くこと。旅とは、そういう体験なのではないでしょうか。

Peachが大切にしている「Love & Peach」という言葉があります。「愛あるフライトを、すべての人に。」というビジョンと、アジア圏で幸運のシンボルとされる桃。この二つを重ねた想いが、私たちの翼には込められています。今回の台湾特集では、この原点に立ち返ってみることにしました。テーマは「愛×桃」。どこかノスタルジックな空気が漂う台湾の街

を歩きながら、愛と桃を探す旅へ出かけます。台湾は、祈りの文化が暮らしに息づく場所です。廟には絶えずお香の煙がたなびき、人々は日常の延長線上で神様に手を合わせます。縁結びの神様に恋愛成就を願う人、商売繁盛を祈る人、家族の健康を祈る人。祈りの形はさまざまですが、そこにはいつも「誰かを想う気持ち」があります。そして街角には、桃をはじめとする縁起物のモチーフがあふれています。古い建物のタイルに、お祝いの席に並ぶお菓子に、日用品や雑貨に。人々の暮らしのそばに寄り添う桃たちは、幸せを願う心の表れそのものです。愛を見つけに、運を招きに。そんな気持ちで街を歩いてみると、いつもの旅がちよっと特別なものになるかもしれません。さあ、愛と桃を探しに出かけましょう。



# 愛

### 人々を支える媽祖の愛とは

台湾を歩いていると、街のあちこちで廟を見かけます。中でもよく祀られているのが、航海の女神・媽祖です。もとは海で遭難した人々を救ったとされる実在の女性。いまでは人々の暮らし全般を見守る存在として、台湾でもっとも親しまれている神様の一柱になりました。旧暦3月に行われる媽祖の誕生祭は台湾最大の宗教行事で、各地の廟が華やかに彩られます。



廟とは、民間信仰の神々や先祖を祀る建物。台湾では、媽祖を祀る廟が各地に点在し、人々の生活に根付いた祈りの場となっている。



### 媽祖のもとに集う食卓

迪化街の路地を抜けると、慈聖宮の前に広がる屋台街が現れます。ガジュマルの木陰にテーブルが並び、地元の人々が思い思いに昼食をとる風景。廟の境内がそのまま食堂になったような、台湾らしいおらかな光景です。一方、夜になると賑わうのが「松山慈祐宮」。270年以上の歴史を持つこの媽祖廟は、饒河街観光夜市の入口に堂々と構えています。屋台を巡った後、煌びやかにライトアップされた廟に手を合わせる人々の姿も。昼も夜も、媽祖を囲むように人が集まり、食べ、笑い、祈る——台湾では、神様のそばにいつも暮らしの温もりがあります。



### 地元民に愛される ひんやりスイーツ「愛玉」

愛玉は、台湾固有の植物・愛玉子の種からつくる涼菓。レモンシロップで食べるぶるぶるの食感は、暑い台湾で愛され続けるおやつです。その名の由来は、この植物を発見した商人の娘の名前「愛玉」から。愛という字が宿るスイーツで旅のひと休みを。



# 桃

### みんなを笑顔にする縁起物

桃は、アジアにおいて古くから長寿や幸福の象徴とされてきました。台湾でも「壽桃」と呼ばれる桃の形のお饅頭は、誕生日や祝い事に欠かせない縁起物。ほんのり甘い餡が詰まったふくらとした形は、見ているだけで幸せな気持ちになります。そんな桃のモチーフは、台湾の街のあちこちに息づいています。



なんだか似てる仲間たちだね



### 暮らしの中にある桃モチーフたち

台湾の日常には、桃のモチーフがさりげなく溶け込んでいます。レトロなマジョリカタイルを扱う「朝陽珈琲」、老舗の茶器に描かれた桃柄、台湾発の香水ブランド「Perfume Tiles」の練り香水。小さな縁起物たちは、お土産にもぴったりです。旅先で見つけた愛と縁起物を持ち帰れば、日常にもきっと小さな幸運を連れてきてくれるはず。

### 壽桃に込められた願い

台北の老舗ベーカリー「大普美藝術蛋糕」は、伝統的な壽桃をつくり続ける名店です。職人の手で一つひとつ丁寧に成形され、蒸し上げられる桃色のお饅頭。台湾では誕生日や長寿のお祝いに欠かせない縁起物で、その姿を見れば誰もが笑顔になります。台湾の人々にとって壽桃は、子どもの頃から家族の祝い事とともにあるもの。「おばあちゃんの誕生日にはいつも壽桃があった」「親戚が集まると必ずテーブルに並んでいた」など。話を聞けば、誰もがひとつは思い出を持っています。世代を超えて受け継がれる、幸せを願う気持ち。壽桃は、その象徴なのかもしれません。

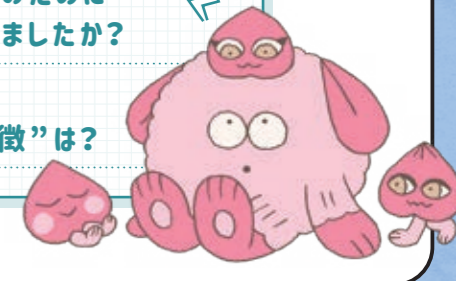


### MOMOメモ01

Q. 最近、誰かのために  
願いを込めましたか?

Q. あなたの  
“幸せの象徴”は?

愛も桃も  
あなたのそばに



# 愛

LOVE

## 人々を支える媽祖の愛とは

航海の女神である「媽祖」は、宋の時代、中国南部に実在した少女・林默娘の化身といわれています。彼女は若い頃に神通力を得て、数々の奇跡を起こしたと伝えられる人物。毎年、旧暦3月23日（2026年は新暦5月9日）の誕生日が近づくと、各地の媽祖廟で賑やかな祭典が催されます。そこには「母なる存在」として慕われる媽祖の姿があります。



人々が大きな媽祖像を支えている写真は九份・聖明宮の祭典風景。黄色の服を着た拱天宮のメンバーが神輿を担ぎながら歩く写真は白沙屯媽祖の巡礼風景。想像以上の速さで進む。

### 老いも若きも熱狂する、母なる媽祖とともに歩む巡行。

台湾における媽祖信仰の始まりは、16世紀に遡ります。台湾海峡を渡って台湾にやってきた人々にとって、媽祖はもともと身近な守り神でした。荒れ狂う波の中で人々は手を合わせ、航海の安全を祈ったといわれます。到着後は媽祖のご加護に感謝し、各地に廟を建てていきました。現在、媽祖は航海や漁業のみならず、転職や恋愛、引っ越しなど、日々の暮らしに関わる悩みに寄り添ってくれる親しき存在となっています。台湾では神様と人の距離が近く、「家族や恋人にいけないことも媽祖さまには打ち明けられます」と語る人にもよく出会います。

媽祖の誕生日を祝う祭典は、人々にとっての一大行事。中でも苗栗県白沙屯の

拱天宮を起点とする巡行は年々参加者が増えており、昨年はのべ70万人が参加したといわれています。巡行は往復約400キロを8日間かけて歩きますが、不思議なことに、その行程や進路は定まっておらず、媽祖の神意を仰ぎながら進んでいきます。

巡行で目を引くのは「鑽轎腳」と呼ばれる儀式。媽祖の神輿が近づくと、人々は一斉に地面にひれ伏し、その上を神輿が通り過ぎていきます。こうすることで福を授けるといわれています。道中では見知らぬ者同士が声をかけ、助け合いながら歩き、沿道では食事や飲み物が振る舞われます。

人々を包み込む媽祖の愛とパワーに触れられる巡行。短時間での参加も可能です。機会があれば出かけてみてはいかがでしょうか？

#### INFORMATION

##### 媽祖生誕祭

旧暦3月23日の前に催されるが、各地の廟で日程は異なるのでサイトなどで要確認。今年の白沙屯の媽祖巡行は4月12日深夜に出発し、4月20日に戻ってくる予定。



### 「大稻埕慈聖宮の昼食風景」

19世紀に茶葉の貿易で賑わった台北市の大稻埕エリア。メインストリートの迪化街から少し離れると、媽祖を祀る「大稻埕慈聖宮」が現れます。かつては境内で芝居が盛んに行われ、多くの観客が集まったことから、屋台が集まるようになったといわれています。

現在、廟の前には屋台街が形成され、肉入り粥や豚足入り麵、ホルモンスープなど、味に定評のある屋台が軒を連ねます。屋台文化が根づく台北でも、廟の前庭で食事ができる場所は多くありません。ガジュマルの樹が茂り、ゆるやかな時間が流れる境内には、常連客から旅人まで、さまざまな人が集います。日本人だとわかると「どこから来たの?」と声をかけられ、そこから会話が始まることもあります。人情味あふれる食事処は、初めての人でも不思議と落ち着ける場所。もしかすると、媽祖が温かく見守ってくれているからかもしれません。



地元の人たちと一緒に食べよう



#### INFORMATION

##### 大稻埕慈聖宮美食街

料理を注文した後、店指定のテーブルに着く。●台北市大同區保安街49巷17號 営業時間は店舗によって異なるが、9時～15時に開いている店が多い。特に11時～13時頃が賑わう。MRT大橋頭駅から徒歩約6分。

数ある屋台の中でも、特に人気なのが「阿桂娘原汁排骨湯」。看板メニューは、大根と豚肉が入ったスープ。透き通った見た目ながらも滋味豊かな味わいで、厚切りの豚肉は箸でほくせるほどの柔らかさ。脂っこくない魯肉飯に加え、小皿料理も充実。



あちこちから良い香り!

### 「松山慈祐宮と夜市文化」

台北市の東部に位置する「松山慈祐宮」。北を流れる基隆河の水運によって栄えた場所にある媽祖廟です。創建は1753年。6階建ての建物は豪華絢爛で、夜間にはライトアップもされて、より一層の美しさになります。こういった有名な廟のそばに夜市（ナイトマーケット）があるのは、台湾では定番の風景。参拝を終えた人々は饒河街觀光夜市で食事を楽しんでから帰途につきます。ここには約600メートルにわたって屋台が並び、名物は胡椒風味の焼き肉まん「胡椒餅」や、薬膳スープ「藥燉排骨」など。媽祖信仰と人々の暮らしが結びついた魅惑の空間です。

ふわふわの生地で豚の角煮や香菜（パクチ）、高菜の漬物などを挟んだ「刈包」。ピーナッツ粉もかけられ、甘さと塩気が絶妙。

#### MOMOメモ②

Q. 心が安らぐ場所はどこ？

Q. “愛”を感じるの、どんなとき？

心落ち着く場所を大切にしたいね



#### INFORMATION

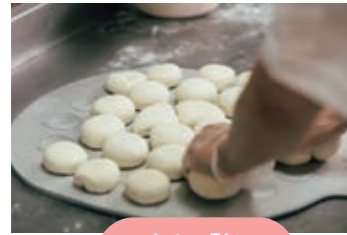
##### 松山慈祐宮

ご本尊は長期の間、線香の煙によって燻され、顔が黒くなった「黒面媽祖」。生誕祭では2日にわたって巡行が催される。●台北市松山區八德路4段761號 5:30～22:30 台鉄・MRT松山駅から徒歩約3分。

# 桃 PEACH

## みんなを笑顔にしてくれる縁起物

台湾をはじめ、香港やシンガポールといった地域では、桃にまつわる縁起物をよく目にします。代表的なのが、年配者の長寿を祝う席に登場する「壽桃」。鮮やかなピンク色が目を引く桃形の中華まんです。そのほか、茶器や小皿といった日用品にも、繊細なタッチで描かれた桃柄があしらわれています。台湾の人々の暮らしの中に溶け込んだ桃アイテムを探しに出かけてみましょう。



まるい形に  
願いを込めて



壽桃



生地と隙間ができないようにするため、押しながら捏ねていく。こちらの店では伝統的な製法を改良し、ミルクやバターを使用。香りが良く、ふわふわと柔らかいのがウリ。

### INFORMATION

ダーフメイイシュータンガオ  
大普美藝術蛋糕

1972年創業のベーカリー。壽桃のほか、昔ながらのパンや洋菓子なども販売。●台北市中山区錦州街199号 7:30~22:30 無休 MRT行天宮駅から徒歩3分。

### 長寿を祝う宴に欠かせない「壽桃」。

日本では桃といえば、魔よけや子孫繁栄、女性の健やかな成長を願う意味が込められた果物。一方、台湾では『西遊記』に登場する孫悟空が不老長寿の仙果とされる蟠桃(ばんとう)を食べた逸話を背景に、長寿の象徴とされています。

「壽桃」と呼ばれる中華まんは、60歳以上の長寿を祝う宴席で振る舞われるほか、道教の神様の誕生日に供える習わしがあります。一般的な壽桃のほか、大きな壽桃の中に小さな壽桃をいくつも詰めた「子母壽桃」や、桃形のゼリーや長寿を象徴する麺線(そうめん)に相当)を積み重ねた塔状の「壽桃塔」など、さまざまな形が見られます。壽桃作りで知られる「大普美藝術蛋糕」

では、廟からの依頼が多く、一日に3000個を手がける日もあるそうです。生地を捏ねて形を整えた後、桃の割れ目を表現するため、カップの縁で一本ずつ線を入れていきます。その後、90分ほど発酵させてから蒸し上げ、最後に色付けをして完成です。店では昔ながらの小豆餡のほか、緑豆餡や棗餡入りも販売。また、中華まんだけでなく、壽桃をモチーフにしたケーキも人気を集めています。

2代目店主の何承璋さんによれば、「最近では年齢に関係なく、若い人が誕生日に買っていくことも多いです」とのこと。時代や祝い方が変わっても、家族や友人の長寿を願う気持ちは変わりません。壽桃は、そんな願いを今に伝え続けています。

## 台湾の人々に愛される桃モチーフ

街角のあちこちに桃がいる



### INFORMATION

あまろこーろー  
朝陽珈琲

和製マジョリカタイルやエビ柄の皿などを眺めつつ、台湾産コーヒーが味わえる。日本人店主が経営。●台北市大同区重慶北路二段64巷22號2 F 11:30~18:00 無休 MRT北門駅から徒歩約12分。

### マジョリカタイル

「朝陽珈琲」のマジョリカタイル。右は桃とコウモリ、左は桃とザクロ、仏手柑といったフルーツが描かれている。いずれも人気の絵柄。

縁起物としても愛される桃柄。台湾では、茶器や小皿などのデザインに、品よくあしらわれています。中でも注目したいのは色鮮やかで美しい和製マジョリカタイル。幾何学模様や花、フルーツ、鳥などが描かれ、ここにも桃柄が見られます。

和製マジョリカタイルは英国のヴィクトリアンタイルを模した装飾タイルで、大正期から昭和初期にかけて日本で独自に製造されました。台湾にも数多く持ち込まれ、富裕層の間で流行し、今でも地方都市を訪れると、伝統家屋の門や屋根、壁、家具の装飾に使われているのを目にします。

台湾南部の嘉義市にはマジョリカタイル

をテーマにした「台湾花磚博物館」があります。館長の徐嘉彬さんによれば、かつては台湾人向けに縁起の良い図柄が特別につくられていたとのこと。たとえば、福の到来を願うコウモリや子孫繁栄を象徴するザクロ、仏の手のような形をした柑橘類の佛手柑。そして、不老長寿を表す桃も欠かせないモチーフでした。

近年、和製マジョリカタイルはそのノスタルジックな魅力が再評価され、文房具や日用品、アクセサリのデザインに取り入れられていることが少なくありません。桃柄のアイテムをそばに置き、日々の運気を高めてみたいものです。

### 練り香水

洗練された香りで人気の「Perfume Tiles」の練り香水。マジョリカタイル柄のパッケージには桃とコウモリを組み合わせた柄が見られます。

桃の香りに縁起も乗せて



### 桃柄の茶器

お茶を注ぐたび福が来る

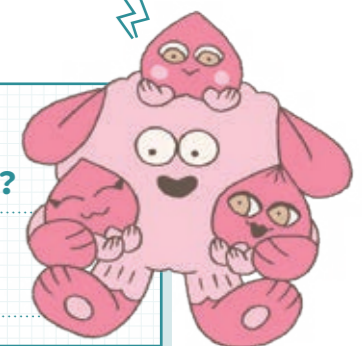
烏龍茶の産地として知られる台湾。さまざまな茶道具があり、こちらはアンティークショップで見かけた桃柄の小ぶりな急須。

ラプミもモモたちも縁起物なのかも!?

### MOMOメモ 03

Q. 家族の祝い事に必ずあったものは?

Q. 旅先で見つけた縁起物は?



縁結びの神様 /  
月下老人に  
**愛**を願う

台湾には「月下老人」と呼ばれる縁結びの神様がいます。長い髭をたくわえ、左手には婚姻に関する名簿、右手には杖を持ち、優しい笑みを浮かべているのが特徴です。大稲埕にある「台北霞海城隍廟」や萬華にある「龍山寺」の月下老人はとりわけ靈驗あらたかな存在で、いつ訪れても数多くの男女が熱心に手を合わせています。

参拝の方法は廟によって異なりますが、自分と相手の名前、生年月日、住所を伝えて祈願するのが基本。相手がいない場合は、理想とするタイプの条件を伝えます。その際、願い事が具体的であるほど成就しやすいといわれています。祈願後には赤い糸が入ったお守りを授けてもらえるので、お財布などに入れて大切に持ち歩きましょう。その後、良縁が叶った際には、お菓子などを持ってお礼参りをすることをお忘れなく。



地元民に愛される /  
ひんやり  
スイーツ **愛**玉子

台湾の人々に親しまれているデザートといえば「愛玉」と呼ばれるゼリーが挙げられます。日本でも台湾語由来の「愛玉子」の名で知られています。これはクワ科イチジク属の台湾固有植物で、実の中にはゴマ粒状の種がびっしりと付いています。豊富なペクチン成分を含み、種子を水の中で洗いながら揉み出すと、ぶるぶるとした透明なゼリーができあがります。ゼリー自体はほとんど味がないため、シロップやレモン、蜂蜜、ジャムなどを加えて味わうのが定番です。

ちなみに、愛玉は19世紀初頭に中国・福建省の商人が台湾から種子を持ち帰り、娘にゼリーをつくらせたとこ評判となり、娘の名、すなわち「愛玉」と呼ばれるようになったという言い伝えがあります。食べると、体の熱が取れてすっきりするといわれているので、散策の合間に味わってみてください。

エビ



おいしいだけじゃないんだね



桃 だけじゃない  
台湾の縁起物

パイナップル



縁起物を大切にする台湾の人々。その姿勢は暮らしの中のさまざまなシーンに表れています。たとえば、エビが描かれたアンティークの皿。これは1950~60年代、道教の祭典や結婚式などの宴席には欠かせない存在でした。食べ終えたあとにエビの絵柄が現れると、ご馳走を味わった気分になれるという遊び心があるほか、エビの湾曲した姿に「彎彎順」（物事が順調に進みますように）という願いが込められています。

また、漢字では「鳳梨」と表す「パイナップル」も幸運を呼ぶ果物です。この字を台湾語で読むと「運氣が訪れる」と同じ発音になることから、商売繁盛や金運を象徴するようになりました。春節の時期にはリボ

ンを付けたパイナップルが飾られ、店が新規オープンする際にも、パイナップル形の赤い飾り物が軒先に下げられます。台湾土産の定番であるパイナップルケーキにもおめでたい意味が込められているのです。さらに、近年リバイバルブームとなっている「台湾花布」と呼ばれる花柄の生地も縁起物の一つ。鮮やかな赤や水色、黄色を基調に、牡丹や菊の花などがあしらわれ、60年ほど前にはカーテンやテーブルクロス、嫁入り道具の布団カバーとして用いられていました。明るく華やかな色彩は、情熱的で前向きな台湾の人々の気質を映し出しているかのよう。福を呼ぶ花布のバッグやポーチをお土産に選んでみてはいかがでしょうか。

花布



色んな柄があるんだよ



花布の世界は奥深いでしょ



INFORMATION

ブティック 布調

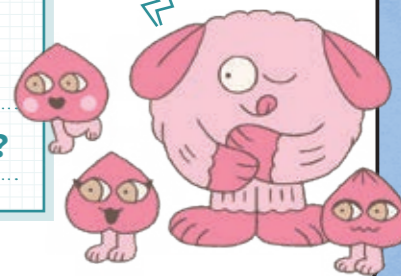
店主兼デザイナーの陳淑萍さんは、台湾全土を巡って工場の倉庫などに眠る花布を集め、その価値を再評価。そして、世に広めてきた人物。花布は花柄で知られるが、キャラクターや和柄など、日本の影響を受けた図柄も多く、バラエティに富んだ商品を扱っている。陳さんの著作『花様時代』ではそれぞれの絵柄を詳細に紹介。邦訳本は『台湾花模様美しくなつかしい伝統花布の世界』。●台北市大安区永康街47巷27号 11:00~17:00 火水木休 MRT東門駅から徒歩約7分。

MOMOメモ

Q. あなたが大切にしている“愛”はどんな“愛”?

Q. 今、どんなご縁がほしい?

願えば叶ってよくなるよ?



# Love&Peach Peachの舞台裏

COLUMN | VOL.08 |

## 生まれ変わった 関西空港第2ターミナル(国内線)

すべての人に、より良い旅の提供を目指すPeachの舞台裏に迫るこの企画。今回は、リニューアルした関西空港第2ターミナル(国内線)に注目。お客さまに快適で楽しい空の旅をお届けするために、取り入れた変化とは？

### 関西空港第2ターミナル(国内線)のリニューアルでは、どんなことが変わったの？

日々多くの人が行き交う関西空港第2ターミナル(国内線)。お客さまにより楽しく心地よい旅の時間をお届けしたいという想いからリニューアルプロジェクトがスタートし、2025年夏に着工。この春、ついに生まれ変わったターミナルの供用が始まりました。

#### 搭乗までの流れがもっとわかりやすく！

保安検査場への入り口と国内線の到着口が隣接していることから、搭乗手続きの順番がわかりにくかった関西空港第2ターミナル(国内線)。そこで「チェックイン」「手荷物タグ発行」と書かれたサインポールを設置。これによりお客さまが迷うことなく、各種手続きを進められるようになりました。

#### 手荷物の預け入れがスムーズに

手荷物の預け入れにかかる時間をできるだけ短縮し、ストレスなく搭乗いただけるように、手荷物タグ発行機「Peach BAGGAGE TAG KIOSK」に加え関西エアポート株式会社が新たに導入した自動手荷物預け機「Self Baggage Drop」を設置。お客さまご自身でタグの発行～預け入れまでが可能になり、カウンターに並ぶことなく、スムーズに手荷物をお預けいただけます。



リニューアルって  
なんだかワクワクする



※画像はイメージです。

#### 快適に過ごせる待ち時間

搭乗待合エリアは、ゆとりのある広々とした空間へとアップデート。以前に比べ、座席と充電スポットの数が大幅に増加し、レストランなども新しくオープンしました。旅の時間をともにする家族や友達と語ったり、大切なあの人を思いながらお土産を選んだり。誰もがリラックスしながら、思い思いの待ち時間を過ごせます。



#### より快適な旅をお届けするために

「搭乗手続きをもっとスムーズに済ませたい」「手荷物の預け入れに時間がかかる」といったお客さまのお声にお応えしたい思いと、今後の航空需要拡大に備えて、よりストレスのない空港体験を提供するために、今回のリニューアルに至りました。これからもお客さまのご意見を耳を傾け、より便利で快適なターミナルを目指してまいります。

#### 生まれ変わったPeachがお届けしたいこと

就航から15年目という節目を迎える2026年、新たに生まれ変わるPeach。関西空港第2ターミナル(国内線)のリニューアルをはじめ、社内ではいくつものチームが密に連携しプロジェクトを推進してきました。どのプロジェクトにも共通しているのは、お客さまへ愛あるフライトを届けたいという社員の想い。私たちはこれからもお客さまとともに歩み、よりよいサービスを創っていきたく考えています。お手元にアンケートが届いた際には、ぜひ皆さまのお声をお聞かせください。

これからも  
Peachをよろしくね！



## ここだけの話！ まちの自慢を、 聞かせてください

広大な自然と多様な体験、そして人。  
ここでしか味わえないことがある。

「泉佐野市は、西は大阪湾、東は和泉山脈に面し、豊かな自然に恵まれる一方で、『関西空港』や『りんくうタウン』といった都会の側面をあわせ持つ多彩な表情を見せるまちです。泉佐野漁港にある青空市場には、新鮮な海の幸を味わえる飲食店がたくさんあります。『The Yellow Shrimp』では、新感覚の海鮮メニューや市場で購入した食材を持ち込めるBBQがたのしめます。また、南海電鉄泉佐野駅近くの商店街の空き家を改装した『ナス洋装店』もおすすめ。店先には名物の水ナスをモチーフにしたオリジナルブランドのユニークなアイテムが並び、南大阪カルチャーを発信しています。そして『関西空港』の近くには航空機にまつわるさまざまなスポットもあります。空の守護神である『泉州磐船神社(泉州航空神社)』は、プロペラが取り付けられた鳥居、本殿前に鎮座するヘリコプターなどが特徴的。『りんくう公園』では、『関西空港』を離着陸する航空機を眺めることができます。まちの持つ多彩な魅力を色々な角度から楽しめる泉佐野市へぜひ遊びにきてください」

CITY  
No.08

泉佐野市 編



大阪府泉佐野市長  
千代松大耕さん

ロコミサイトがたくさんあるけれど、やっぱりまちのことは地元の人に聞くのが一番。今回は、関西空港の玄関口として栄える大阪府泉佐野市へ。千代松市長、ここだけの話を聞かせてください！

<p>The Yellow Shrimp</p> <p>大阪府泉佐野市新町2-5187-101泉佐野漁協青空市場2F ☎ 072-424-5282</p>	<p>ナス洋装店</p> <p>大阪府泉佐野市栄町10-11 ☎ 080-6167-5295</p>
<p>泉州磐船神社(泉州航空神社)</p> <p>大阪府泉佐野市上瓦屋392-1 ☎ 072-462-5900</p>	<p>りんくう公園</p> <p>大阪府泉佐野市りんくう往来北1-271 ☎ 072-469-7717</p>

旅先で見たものや出会う人、口にしたものは、人にインスピレーションを与えてくれます。何かが生まれるきっかけになった旅について、語ってもらいました。

## 旅からすべてがはじまった

### 誰かの思い出の風景も、私の旅先。

旅の思い出は誰にどうやって共有するか。どこかへ出かければSNSにシェアをすることが当たり前になった現代。私も海外旅行へ行った際に、思い出をためらいもなくSNSにシェアしようとした。その時、友人に「それは幸せ自慢になるかもしれないよ」と言われ、はたと立ち止まり幸せについて考え直すことがあった。今は指一本で思い出をシェアできてしまう。それが悪いとは思わないが、味気なさを感じるのも事実。見栄えの良い写真をセレクトし、言葉を整えて投稿する。素敵だけれど、人が生の言葉で語る旅行体験記に勝るものはない。

昔は旅行に行ったことや嬉しいことは、極々身近な人との間で共有されるものだった。旅先で撮

った写真を肩を寄せ合い眺め、「ここではこんなことがあってね」と思い出話を花を咲かせることが、あなたにもあったのではないだろうか？

私は旅行の思い出話を聞くのが好きだ。その人が見てきた景色のすべてを知ることはできないが、想像することはできる。話している友人の幸せそうな顔を見るのも特別な時間だと感じている。

先日、一通のカードが我が家に届いた。海外に住む友人が旅先からポストカードを送ってくれたのだ。「こっちは楽しくやっているよ。遊びに来る時は連絡してね。良いお年を！」と書かれていて何だか胸が熱くなった。人と人の温度を感じられるやりとりは特別だ。だから今度は私が、旅先から友人にカードを送ってみたいと思う。

PROFILE  
松井玲奈さん 編



まついれな/1991年生まれ。愛知県出身。俳優、作家。2008年デビュー。最新作はエッセイ『ろうそくを吹き消す瞬間』。現在、舞台『ハリ・ポッターと呪いの子』にハーマイオニー・グレンジャー役で出演中。



PROFILE  
**Oki Sato**

Oki Sato is the founder and principal of the design studio nendo. Born in Canada in 1977, he completed his master's degree at Waseda University Graduate School in 2002 before establishing nendo the same year. His work spans a wide range of disciplines, including architecture, interior design, product design, and graphic design. In recent years, he has been involved in projects such as the design of France's TGV high-speed trains and the overall creative direction of the Japan Pavilion at EXPO 2025 Osaka, Kansai, Japan.

INTERVIEW

## Speaking with Oki Sato of nendo about Peach's Rebranding

Now in its 15th year, Peach Aviation is evolving as a brand that continues to embrace new challenges. Guided by its mission, "A flight full of respect for everyone," Peach partnered with Oki Sato of nendo, a designer renowned both in Japan and internationally for work ranging from everyday products to high-end luxury brands. We spoke with him about the ideas and intentions behind the new design.



ABOUT FIRST IMPRESSION  
**Meeting the Peach Team**

— What led you to take on the rebranding project?

What stood out to me when I first met the Peach team was how deeply they care about the future of the brand. Ideas are exchanged openly, regardless of job title, and individual perspectives are genuinely reflected in decision-making. Even though Peach is a large company, I felt a strong sense of flexibility and openness in its culture. My initial impression of Peach was that it was a company constantly trying new things. But as I spoke with the team, I came to see how seriously they work behind the scenes to balance "fun" with "seriousness." They place great importance on creating a sense of trust and security, while also maintaining a light, effortless feel ... as if they don't want their hard work to show. I believe it's this delicate balance that gives Peach its unique depth and appeal.



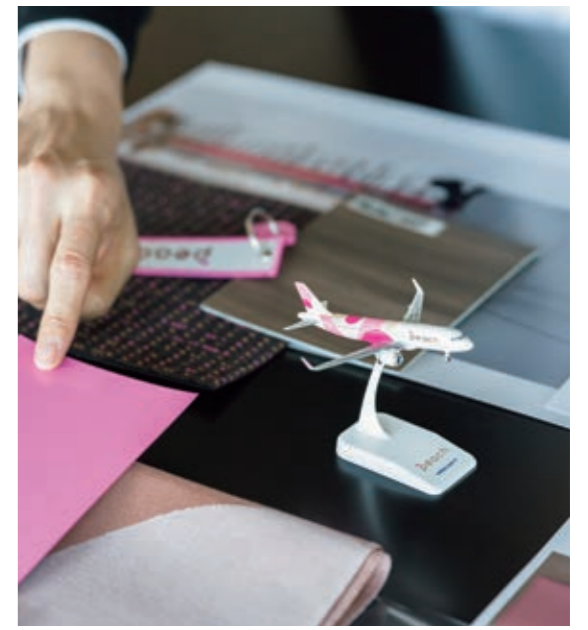
As part of the rebranding, Peach's aircraft will also be re-designed to reflect the new corporate colors, with the first update aircraft scheduled to debut in early 2027.



ABOUT CORPORATE PHILOSOPHY  
**I Was Surprised by the Word "Respect"**

— What do you see as Peach's core, unchanging philosophy?

It's "A flight full of respect for everyone." When I spoke with the people in charge, I was struck by how naturally—and how often—the word "respect" came up in conversation. At first, it almost felt a bit over the top (laughs). But the idea of being an airline that anyone can easily choose has been a value Peach has cherished since its founding, and I believe it's a core principle that must be protected. At the same time, I felt that the way this philosophy was expressed needed to be updated. The role of design isn't simply to look good; it's to clearly communicate the values a brand holds dear. We deliberately avoided excessive theatrics and focused instead on achieving a balance between calmness and familiarity.



The newly redesigned Peach logo.



ABOUT NEW DESIGN  
**Peach: A More Mature Look**

— What message did you want to convey through the new logo and color palette?

The previous design had a very strong and distinctive presence. With the new design, we aimed to express a world that can be loved by people of all ages and genders. The main brand color remains pink, inspired by the gentle, delicious image of peaches, complemented by subdued tones such as ivory and brown. The result is a slightly more grown-up Peach. The randomly arranged patterns are meant to evoke a sense of anticipation for the journey ahead. I think it's an unusual tone for an airline in a positive way.

— What did you focus on when designing the customer experience?

This time, instead of defining a single corporate color, we introduced multiple shades of pink. This not only adds enjoyment through color combinations, but also allows different tones to be used depending on their function. For example, we use brighter, more saturated pinks in airport spaces where visibility is important, while softer, calmer pinks are used on board to create a more relaxing atmosphere. By layering ivory and brown on top of these tones, we created a visual world that conveys trust and a sense of quality.

— What kind of airline do you think the new Peach will become?

Rather than turning travel into something special or extraordinary, I think Peach will become an airline that further lowers the psychological barrier to traveling. "Proper, but laid-back," and "reassuring, yet with a touch of fun." These are feelings passengers can experience naturally. New discoveries don't always come from flashy presentations or dramatic services. Sometimes they come from quiet realizations: "It was more comfortable than I expected," or "I'd like to fly with them again." As these experiences accumulate, we hope Peach will continue to be a brand that stays close to people's everyday lives and journeys.



Check-in KIOSK, the first point of contact for many customers, has also been redesigned. The monitor area now features Peach pink, creating a visual link with the new logo.

# Love&Peach Peachの舞台裏 Behind the Scenes at Peach

## The Renovated Kansai Airport Terminal 2 (Domestic)

In this column, you're invited to take a behind-the-scenes look at Peach, an airline committed to improving the travel experience for everyone. In this edition, we turn our attention to the newly renovated Kansai Airport Terminal 2 (Domestic). What changes have been introduced to deliver a comfortable and enjoyable journey for our customers?

### What improvements have been made to ensure a smoother, more comfortable, and more enjoyable journey?

Kansai Airport Terminal 2 (Domestic) serves a large number of passengers every day. The renovation project, which began in the summer of 2025, was driven by a desire to make air travel more enjoyable and pleasant for customers. This spring, the up-graded terminal officially began operations, welcoming travelers with a refreshed and more user-friendly design.

#### A Clearer, More Intuitive Path to Boarding

Previously, the close proximity of the security checkpoint entrance and the domestic arrivals gate made the boarding process difficult to follow. To address this, new signage, such as "Check-in" and "Baggage Tag Printing," has been installed. These improvements make it easier for passengers to move smoothly through each step without confusion.

#### Faster, Smoother Baggage Check-in

To reduce waiting times and create a stress-free start to the journey, new self-service options have been introduced. These include the Peach BAGGAGE TAG KIOSK and Kansai Airports' newly installed Self Baggage Drop machines. Passengers can now print baggage tags and check in their luggage themselves, eliminating counter lines and ensuring a quicker, more seamless experience.



The renovation sounds exciting!

#### Enjoy a Comfortable Waiting Time

The boarding lounge has been transformed into a spacious, comfortable area. Compared to before, there are now significantly more seats and charging points, along with new restaurants. Spend time chatting with family and friends who are traveling with you, or browse for souvenirs with someone special in mind. Everyone can relax and enjoy their waiting time in their own way.



\*Images are for illustrative purposes only.

#### Creating a More Comfortable Journey

This renovation was guided by customer feedback, including comments such as "I want a smoother boarding process." and "Baggage check-in takes too long." With an eye toward future growth in air travel demand, the upgrades aim to deliver a more seamless and stress-free airport experience. We will continue listening to our customers and working to make the terminal even more comfortable and convenient.

#### What the Reborn Peach Aims to Deliver

In 2026, marking its 15th year of operations, Peach will embark on a new chapter. Teams across the company have worked closely together on a variety of initiatives, including the renovation of Kansai Airport Terminal 2 (Domestic). What unites all of these projects is a shared desire to offer flights rooted in respect for our customers. We look forward to continuing to improve our services together with you. When you receive a survey, we'd love to hear your thoughts.

We hope you'll keep flying with Peach!



## Just Between Us! まちの自慢を、 聞かせてください Share What Makes Your Town Special

CITY  
No.08

Izumisano City



Mayor of Izumisano City,  
Osaka Prefecture  
Mr. Hiroyasu  
Chiyomatsu

With so many review sites out there, sometimes the best way to discover a place is to ask the locals. This time, we visit Izumisano City, a town that serves as the gateway to Kansai Airport. We spoke with the city's mayor, Hiroyasu Chiyomatsu, who shared some insider perspectives on what makes Izumisano special.

Vast nature, unique experiences, and warm people. Discover moments and experiences you can only find here.

"Izumisano City is blessed with a rich natural environment, with Osaka Bay to the west and the Izumi Mountains to the east, while also offering a distinctly urban side through Kansai Airport and Rinku Town. At the Open-Air Market by Izumisano Fishermen's Cooperative Association, you'll find many restaurants serving freshly caught seafood. At The Yellow Shrimp, visitors can enjoy creative seafood dishes as well as a barbecue experience using ingredients purchased at the market. Another spot I recommend is Nasu Yoso-ten, located in a renovated vacant building in a shopping street near Izumisano Station on the Nankai Railway. The store showcases original items inspired by Izumisano's local specialty, water eggplant, and highlights the culture of southern Osaka. For aviation enthusiasts, there are several unique attractions near Kansai Airport. Senshu Iwafune Shrine, also known as the Senshu Aviation Shrine, is dedicated to the guardian deity of the skies and features a torii gate adorned with an aircraft propeller, as well as a helicopter enshrined in front of the main hall. At Rinku Park, you can watch aircraft take off and land at Kansai Airport. Izumisano is a city where visitors can experience a wide variety of attractions from many different perspectives. We hope you'll come and explore it for yourself."

<p>The Yellow Shrimp</p> <p>The Open-Air Market by Izumisano Fishermen's Cooperative Association 2F, 2-5187-101 Shinmachi, Izumisano City, Osaka ☎ 072-424-5282</p>	<p>Nasu Yoso-ten</p> <p>10-11 Sakaemachi, Izumisano City, Osaka ☎ 080-6167-5295</p>
<p>Senshu Iwafune Shrine (Senshu Aviation Shrine)</p> <p>392-1 Kamikawaraya, Izumisano City, Osaka ☎ 072-462-5900</p>	<p>Rinku Park</p> <p>1-271 Rinku Orahi-ku, Izumisano City, Osaka ☎ 072-469-7717</p>

The sights, people, and flavors you experience on your travels can spark ideas and inspire new creations. We asked Ms. Matsui about the journey that inspired her latest work.

## It All Started with a Trip 旅からすべてがはじまった

### Someone's Memorable Scenery Is My Travel Destination

How and with whom do we share our travel memories? Today, posting them on social media has become second nature. When I traveled overseas, I almost shared my experiences without a second thought. Then a friend said to me, "That might come across as showing off your happiness," and I suddenly paused. It made me rethink what happiness means to me. These days, sharing memories is as easy as a tap of a finger. I don't think that's a bad thing, but it can sometimes feel a little flat. Choosing beautiful photos, carefully crafting captions, and posting them is lovely in its own way. Still, nothing compares to hearing a travel story told in real words, by a real person. There was a time when travel experiences and happy memories were shared only with those closest to us. Have you ever sat shoulder to

shoulder with someone, flipping through photos from a trip as they told you stories—saying things like, "This happened here," or "And this is where that happened?" I love listening to travel stories. I can never know every scene someone has witnessed, but I can imagine them. Watching a friend's face light up as they talk about their journey is a special kind of moment. The other day, a card arrived at my home. It was a postcard from a friend who lives overseas and was traveling at the time. It read, "I'm having a wonderful time here. Please come visit someday. Happy New Year!" That simple message warmed my heart. Moments like these, where you can feel the warmth of a human connection, are truly precious. Next time I travel, I think I'll send a card to a friend.

PROFILE

Ms. Rena Matsui

Rosoku wo Fukikesu Shunkan  
Author: Rena Matsui Publisher: KADOKAWA

Born in 1991 in Aichi Prefecture, Rena Matsui is an actor and writer who made her debut in 2008. Her latest essay collection is "Rosoku wo Fukikesu Shunkan". She is currently appearing as Hermione Granger in the stage production of "Harry Potter and the Cursed Child".

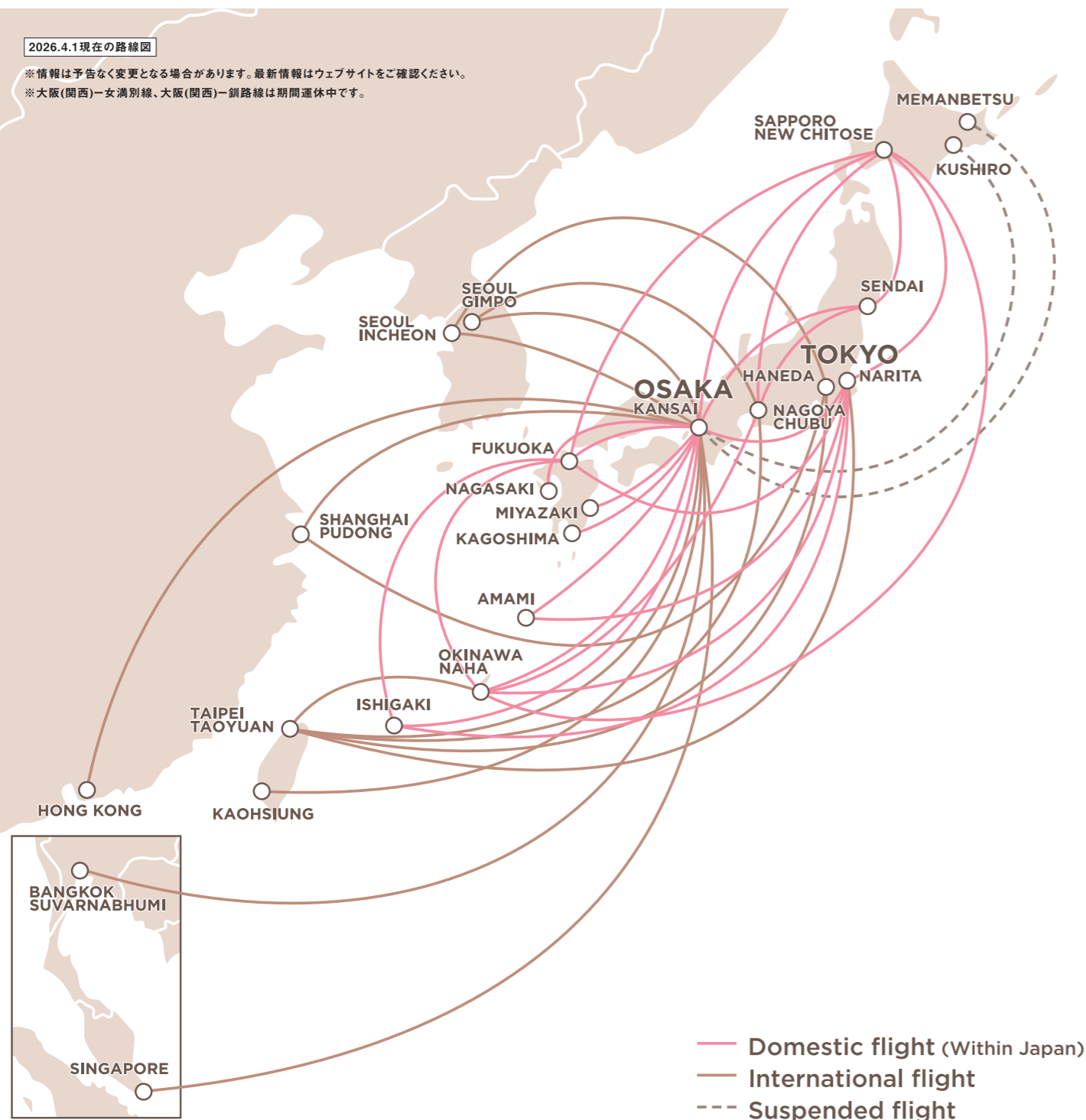


# 路線図

Peachは現在、国内線25路線、国際線15路線に就航しています。今後も、日本各地そしてアジアを結ぶエアラインとしてもっと気軽にご旅行を楽しんでいただけるよう路線をさらに拡大していきます。

2026.4.1現在の路線図

※情報は予告なく変更となる場合があります。最新情報はウェブサイトをご確認ください。  
 ※大阪(関西)-女満別線、大阪(関西)-釧路線は期間運休中です。



— Domestic flight (Within Japan)  
 — International flight  
 - - - Suspended flight

## STAFF

2026年4月発行

発行人  
大橋一成  
  
発行  
Peach Aviation 株式会社

Editors  
Rio Hirai (FIUME, Inc.)  
Foo Shoji (FIUME, Inc.)  
Akari Kato (FIUME, Inc.)  
Mari Katakura (FIUME, Inc.)  
  
Art Director  
Hikari Taguchi

Photographer  
Naoto Date  
  
Illustrator  
Emi Ozaki  
  
Translators  
Orange Corporation

Printer  
Chiyoda Print Media Corporation  
  
Producers  
Yoshihiko Todaka (MAGAZINE HOUSE CO. LTD.)  
Yuki Tadano (MAGAZINE HOUSE CO. LTD.)  
  
Planning & production  
MAGAZINE HOUSE CREATIVE STUDIO

※本誌内の掲載記事・写真・イラストの無断転載・コピーを禁じます ※本誌内の情報やデータは発行日現在のものです ※本誌に掲載の価格は、特別な記載がある場合を除き、税込みです  
 Unauthorized copying of articles, photos, and illustrations is prohibited. / All information is as of the date of publication. / All prices listed include tax, unless otherwise indicated.

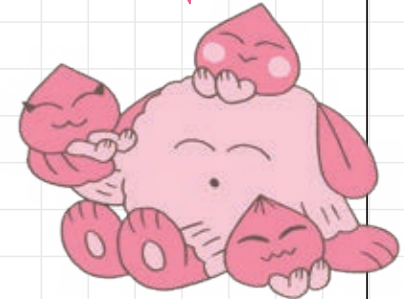
Peachの  
機内誌

# MOMOMAG 【モモマグ】

## 実はウェブでも読めます。

MOMOMAG is actually available to read online.

Now Archive Available!



旅のヒント、ちょっと変わった視点、編集部のお偏愛が詰まったMOMOMAG。  
 これまでのバックナンバーをPeachのウェブサイトでご公開中！気になる特集を、いつでもどこでも読み返せます。

Travel tips, quirky perspectives, and our editorial obsessions—  
 MOMOMAG is now available online! Explore past issues anytime, anywhere.

vol.1-7 好評配信中！ All 7 volumes now online!



vol.1 温度×団らん Temperature and Togetherness  
 vol.2 笑い×台所 Laughter and Food  
 vol.3 美×スパイス Beauty and Spice  
 vol.4 ハレの日×お茶 "Hare" Days and Tea



vol.5 実り×おしゃれ Fruitfulness and Fashionable  
 vol.6 掃除×馬 Cleaning and Horse  
 vol.7 居心地×変身 Comfort and Transformation



飛行機を降りたら「MOMOMAG」で検索  
 Search for "MOMOMAG" on the Peach official website

<https://www.flypeach.com/>

Search

INFORMATION

INFORMATION